

やまぶき荘及び周辺整備構想

基 本 計 画 書

平成27年2月

砺 波 市

目次

第1章 計画の概要	1
1-1 計画策定の背景と目的	1
1-2 これまでの検討の経緯	1
1-3 計画の策定体制	2
1-4 計画の策定フロー	2
第2章 計画条件の整理	3
2-1 やまぶき荘及び周辺施設の概況	3
(1) 施設の立地状況と法規制等状況	3
(2) 施設の概要	4
2-2 関連整備	8
第3章 新たな健康・福祉・交流ゾーンの方向性	9
3-1 基本コンセプト	9
3-2 基本概念と導入機能（全体）	9
3-3 導入機能（個別）	10
(1) 健康づくり機能	10
(2) 福祉（生きがい活動）・介護予防機能	10
(3) 交流機能	10
(4) 地域活性化機能	10
3-4 施設整備の方向性	11
(1) 施設整備の方向性	11
(2) 整備における配慮事項	12
第4章 新たな健康・福祉・交流施設整備計画	13
4-1 建設地の設定	13
4-2 建築計画	14
(1) 必要諸室と規模	14
(2) 施設配置条件	15
(3) 平面イメージ	16
第5章 事業計画	17
5-1 事業スケジュール	17
5-2 概算事業費	17
5-3 管理・運営計画	18

第6章 参考資料	19
6－1 計画策定の経緯	19
(1) やまぶき荘及び周辺整備構想検討委員会	19
(2) やまぶき荘周辺一体管理検討委員会	19
6－2 計画策定組織	20
(1) やまぶき荘及び周辺整備構想検討委員会委員名簿	20
(2) やまぶき荘周辺一体管理検討委員会委員名簿	20

第1章 計画の概要

1-1 計画策定の背景と目的

庄川峡福祉保養センター「やまぶき荘」は、旧(財)日本船舶振興会の助成を受け、昭和53年12月、旧庄川町の社会福祉協議会が事業主体となって、開設されました。その後、旧町において運営上の財政支援を続けるとともに、施設の増改築などが行われ、平成16年11月、市町合併により砺波市社会福祉協議会が運営主体となっています。

こうした中、やまぶき荘は築後35年を経過し、施設全体の老朽化、耐震化などが課題となるとともに、時代の顧客ニーズの変化等により、宿泊利用客は減少傾向となっています。

一方、隣接地には、新たな「パークゴルフ場」の開業を控えるなど、周辺施設を含めた新たな利用のあり方を検討することが必要となっています。

本計画は、こうした背景を踏まえ、今後のやまぶき荘のあり方や周辺施設を含めた整備、管理・運営等の基本的な方向性を検討するものです。

1-2 これまでの検討の経緯

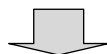
砺波市では、平成25年度において、やまぶき荘及び周辺施設の管理主体である市の関係部署及び砺波市社会福祉協議会を構成とする庁内連絡組織を設けて3回の検討会を実施し、以下の方向性が望ましいと意見が集約されました。

① 管理の方向性

- 現在のような多岐に渡る所管体系から、一体的な管理運営による効率化が必要であり、管理主体も新たな施設コンセプトに基づく、指定管理者の選定が望ましい。

② 運営の方向性

- 本格的な「パークゴルフ場」の整備を契機に、近隣の「庄川健康プラザ」との連携、既存のパットゴルフ場、庄川勤労者体育センターなどを活用した「健康、スポーツ、レクリエーション」のゾーン化を図るとともに、庄川地域の立地環境の特色を活かす。
- 日帰り入浴者、高齢者等の交流の場としても利用客が増加している状況にあり、高齢化に向けて「福祉センター」「介護予防センター」としての機能を付加する。

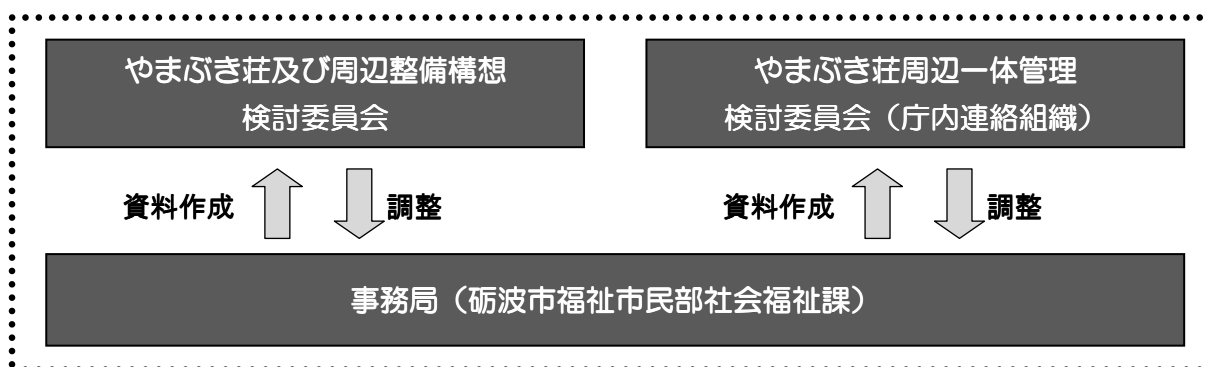


- ★ 『生涯（軽）スポーツ』が楽しめる健康づくり機能
・ 利用面の多様化と通年利用の推進
- ★ 『温泉』が楽しめる福祉センター機能
・ 庄川健康プラザとの連携による機能向上

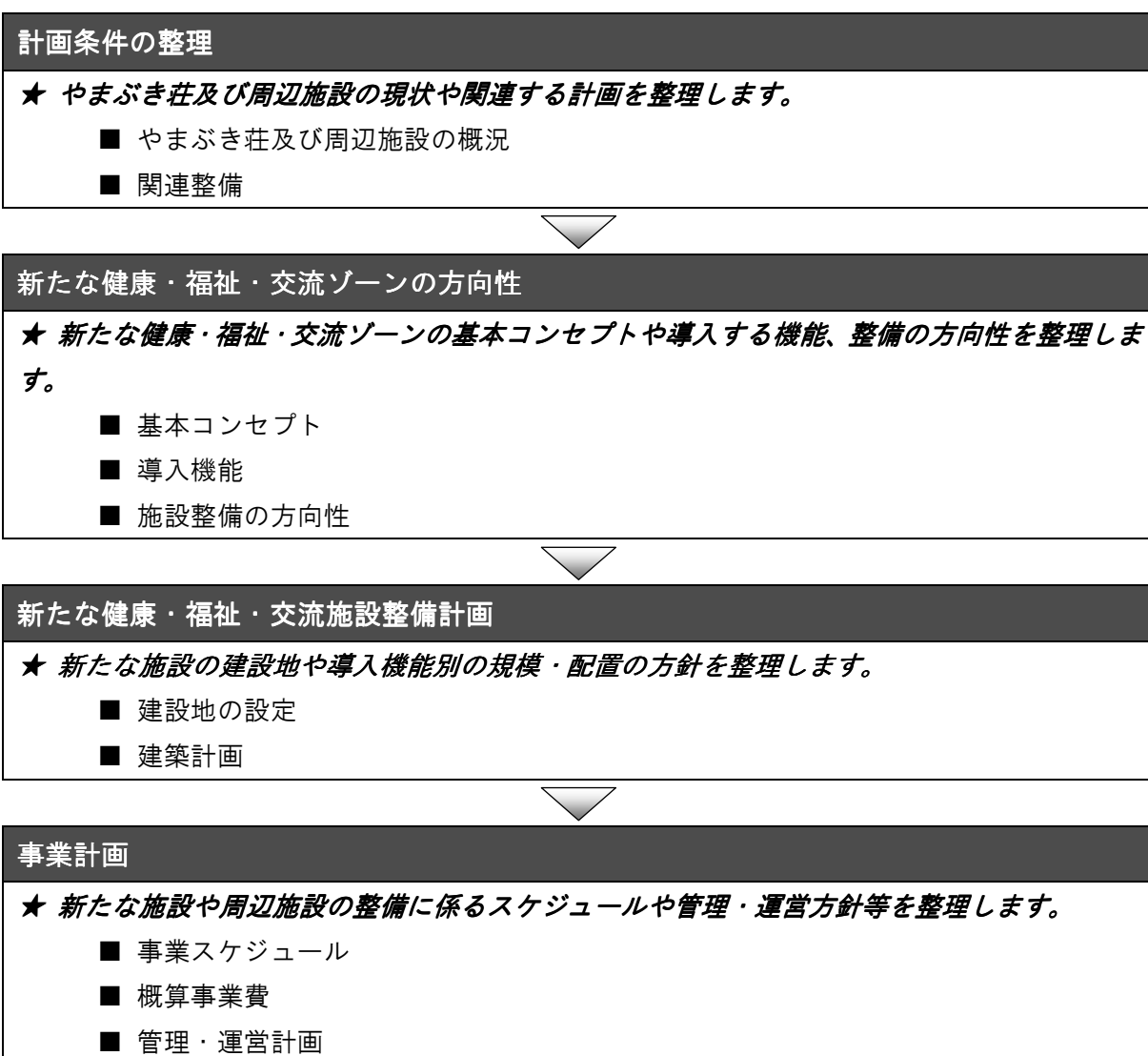
※ 宿泊機能は、公的整備事業としての問題や課題の多さから慎重に検討すべきとされた。

1-3 計画の策定体制

本計画は、関係団体や地域代表者などで構成する「やまぶき荘及び周辺整備構想検討委員会」及び庁内連絡組織の「やまぶき荘周辺一体管理検討委員会」による検討を基に策定を進めます。事務局は、砺波市福祉市民部社会福祉課に設置し、各組織との調整や資料作成を行います。



1-4 計画の策定フロー



第2章 計画条件の整理

2-1 やまぶき荘及び周辺施設の概況

(1) 施設の立地状況と法規制等状況

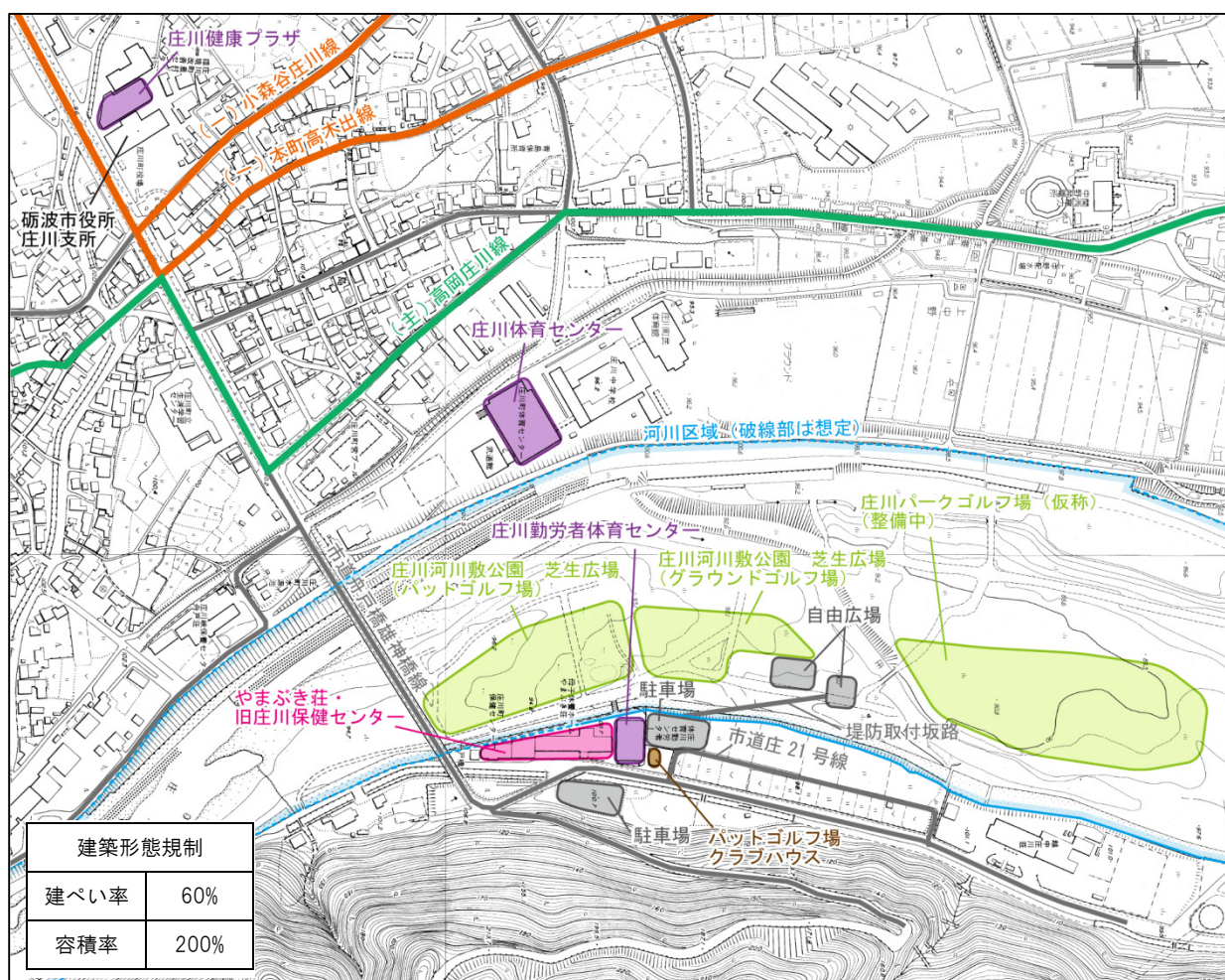
やまぶき荘は、砺波市庄川市街地東側の一級河川「庄川」右岸に立地し、旧「庄川保健センター」と一体の施設となっています。

やまぶき荘周辺の主な施設としては、北側に「庄川体育センター」、西側の河川敷に「庄川河川敷公園（庄川パットゴルフ場、グラウンドゴルフ場）」といったスポーツ施設が立地しており、河川敷北側には新たに「パークゴルフ場」の整備が進められています（平成27年夏開設予定）。

連絡道路としては、やまぶき荘等の東側に接する幅員約10mの「市道舟戸橋雄神橋線」や河川敷と連絡する幅員約4mの堤防取付坂路等が配置されています。

その他、近隣の健康・福祉施設やスポーツ施設には、庄川左岸側の「庄川健康プラザ」や「庄川体育センター」などがあります。

また、周辺は、法規上の規制として土砂災害警戒区域、河川区域の指定などがあります。



▲ 主な施設の立地状況と法規制等状況

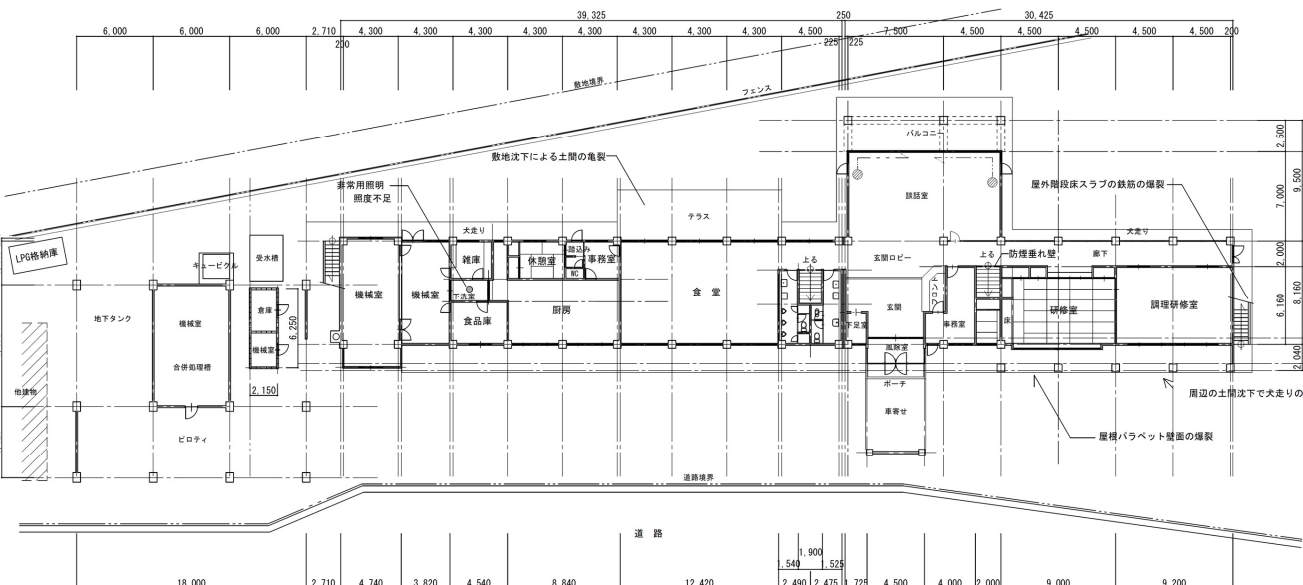
(2) 施設の概要

① やまぶき荘

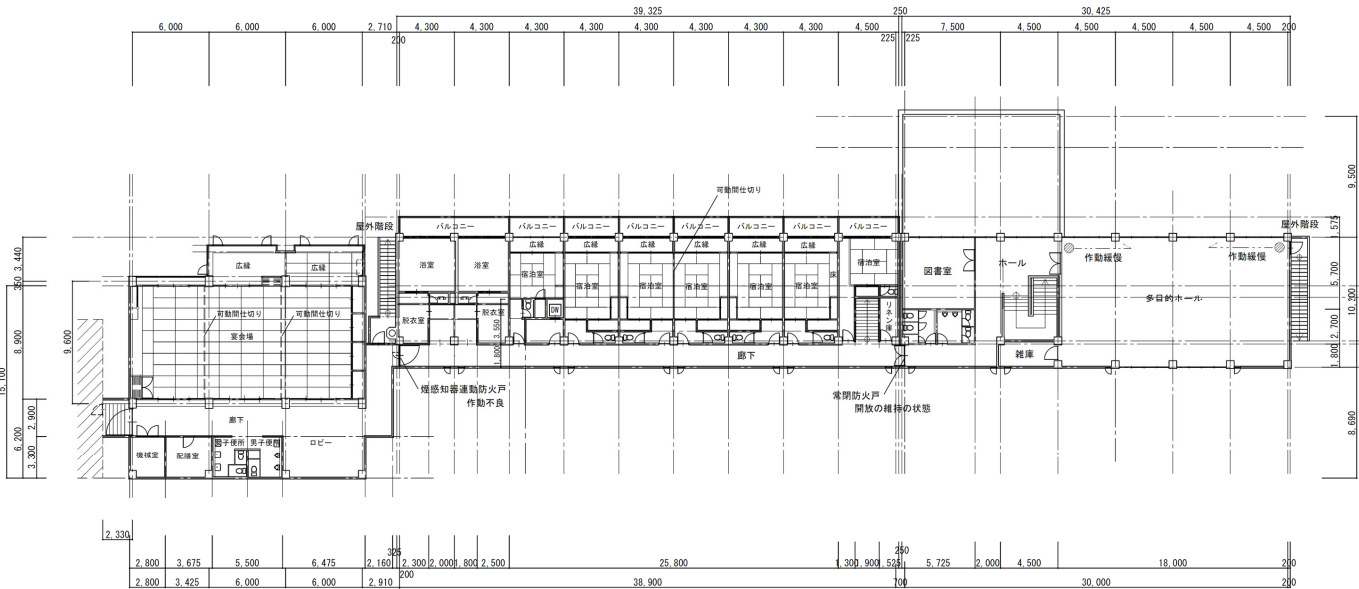
既存の施設は、建設後 35 年が経過し老朽化が進んでいるとともに、現行の耐震基準規定以前に建設されていることから、耐震性能に懸念があります。

また、2 階に浴場等が設置されているにも関わらず、エレベーターが設置されていないなど、バリアフリー上の問題もあります。

開設時期		昭和 53 年 12 月
所在地		砺波市庄川町庄 5134-1
敷地面積		約 4,300 m ²
延床面積		約 2,900 m ²
構造規模		鉄骨・鉄筋コンクリート造 2 階建
駐車スペース		・ 敷地内 16 台 ・ 敷地外 60 台
施設機能・規模	受付・観光案内機能	・ 屋内受付（フロント） ・ 観光案内スペース ・ 特産品案内スペース
	宿泊機能	・ 個室（12 帖：5 部屋、8 帖：2 部屋）
	休憩機能	・ ロビー（1 階、2 階） ・ 大広間（65 帖） ・ 小広間（30 帖）
	入浴機能	『庄川清流温泉』 ・ 男湯（洗い場 4 人、5 坪） ・ 女湯（洗い場 4 人、5 坪） ・ 脱衣室（男女各 2.5 坪）
	飲食機能	・ 食堂 ・ 厨房、食品庫、雑庫 ・ 大広間（休憩機能と併用） ・ 小広間（休憩機能と併用）
	福祉活動機能	・ 講習室 ・ 調理研修室 ・ 軽運動室（ホール）
	その他機能	・ 事務所（1 階 2 部屋） ・ 宿直室（1 階） ・ トイレ（1 階、2 階） ・ 機械室（1 階、2 階） ・ ピロティ（マイクロバス 2 台、ワゴン車 1 台） ・ 雑庫
管理		砺波市社会福祉協議会
営業	営業時間	～21:00
	休館日	年末年始
利用状況		平成 25 年度年間利用者数：19,486 人



▲ 1 階平面図



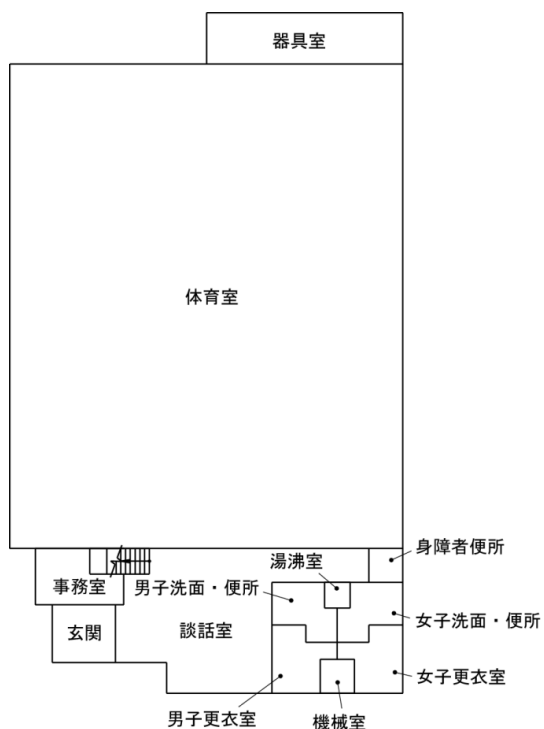
▲ 2 階平面図

② 庄川勤労者体育センター

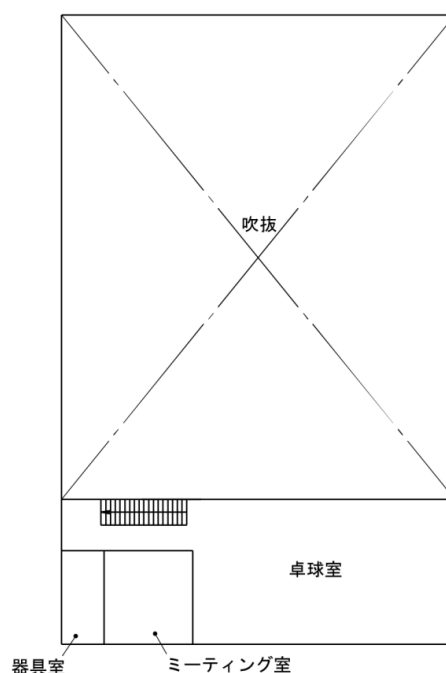
既存の施設は、やまぶき荘と同様に現行の耐震基準規定以前に建設されていることから、耐震性能に懸念があります。

また、地域のスポーツ需要として、冬期間や雨天時等におけるパークゴルフの屋内練習、屋内でも可能なペタンク、ゲートボールが楽しめる環境が求められています。

開設時期		昭和 55 年 3 月
所在地		砺波市庄川町庄 5134-1
敷地面積		約 1,500 m ²
延床面積		約 1,200 m ²
構造規模		鉄筋コンクリート造 2 階建
施設内容		・ バスケットボール 1 面 ・ バレーボール 2 面 ・ バドミントン 3 面 ・ 卓球台 4 台
管理		庄川体育センター
所管		砺波市生涯学習・スポーツ課
営業	営業時間	9:00～21:30
	休館日	12 月 29 日～翌年 1 月 3 日
	利用料金	一般：100 円/2 時間 小・中・高生：50 円/2 時間
利用状況		平成 25 年度年間利用者数：7,896 人



▲ 1 階平面図



▲ 2 階平面図

③ 庄川河川敷公園 芝生広場（庄川パットゴルフ場）、パットゴルフ場クラブハウス

庄川パットゴルフ場は、需要が高く利用者も多くなっています。現在、パットゴルフ場の受付は、庄川勤労者体育センター北側のクラブハウスで行っています。

開設時期		ゴルフ場：平成 18 年 4 月 クラブハウス：平成 11 年
所在地		ゴルフ場： クラブハウス：砺波市庄川町庄 711
敷地面積		ゴルフ場：約 11,000 m ² クラブハウス：約 500 m ²
延床面積		クラブハウス：約 170 m ²
施設内容		ゴルフ場：18 ホール パー72 クラブハウス：受付、休憩スペース
管理		砺波市都市整備課
所管		砺波市都市整備課
営業	営業時間	4 月～11 月末 9:00～18:00
	休業日	毎週火曜日（祝祭日を除く）
	利用料金	高校生以上：500 円 中学生以上：300 円
利用状況		平成 25 年度年間利用者数：2,162 人

④ 庄川河川敷公園 芝生広場（グラウンドゴルフ場）

開設時期		平成 18 年 4 月
所在地		砺波市庄川町庄
敷地面積		約 8,000 m ²
管理		砺波市グラウンドゴルフ協会（年 3 回草刈り）
所管		砺波市都市整備課
利用状況		平成 25 年度年間利用者数：1,311 人

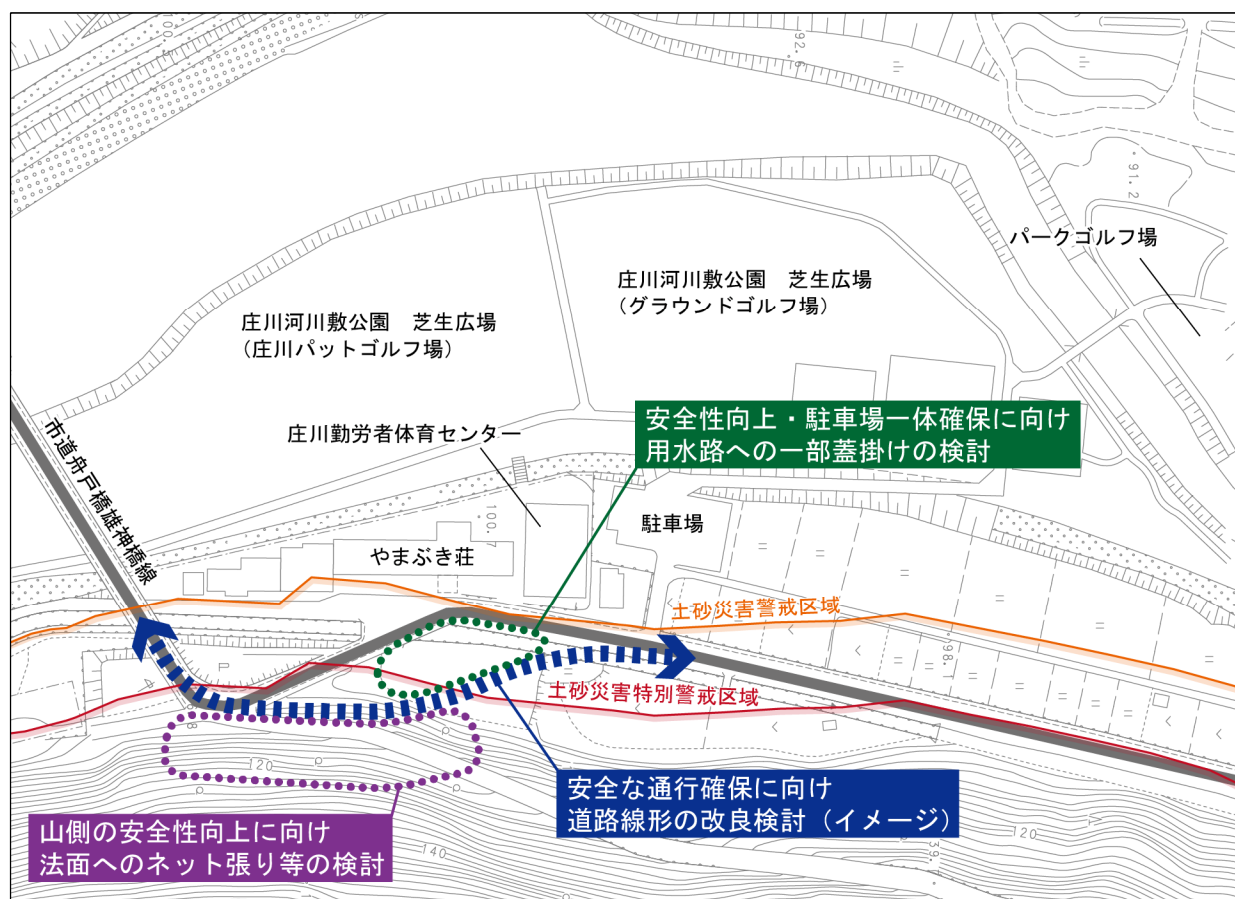
⑤ 庄川パークゴルフ場（仮称）（整備中）

開設時期		平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月整備（土木課） 平成 27 年夏開設予定
所在地		砺波市庄川町庄
敷地面積		約 35,000 m ²
施設内容		パークゴルフ場：36 ホール

市道舟戸橋雄神橋線については、現状として舟戸橋から庄川勤労者体育センター前までの区間が急な平面曲線・縦断勾配となっており、特に冬期間は凍結などにより車両の危険性が高く、道路線形の改良が検討されています。

さらに、当該路線は、やまぶき荘とその敷地外駐車場の間を通過していることから、歩行者にも危険な状況となっており、用水路への一部蓋掛けによる安全性の向上及び駐車場の一体確保が検討課題となっています。

また、やまぶき荘周辺の一部は、土砂災害警戒区域内（急傾斜地の崩壊）に位置していることから、今後法面へのネット張りなどハード的な防災対策の検討が必要となっています。



▲ 関連整備イメージ

第3章 新たな健康・福祉・交流ゾーンの方向性

3-1 基本コンセプト

やまぶき荘は、近年の顧客ニーズの変化等から宿泊利用客は減少傾向を示していますが、入浴や高齢者等の地域交流の場としての日帰り利用客は増加傾向を示しています。なお、単年度収支の赤字基調が続く中、人件費等の固定経費のこれ以上の削減は困難であるとともに、現行施設の改修には多額の経費を要するものであり、将来に向けた運営課題が生じています。

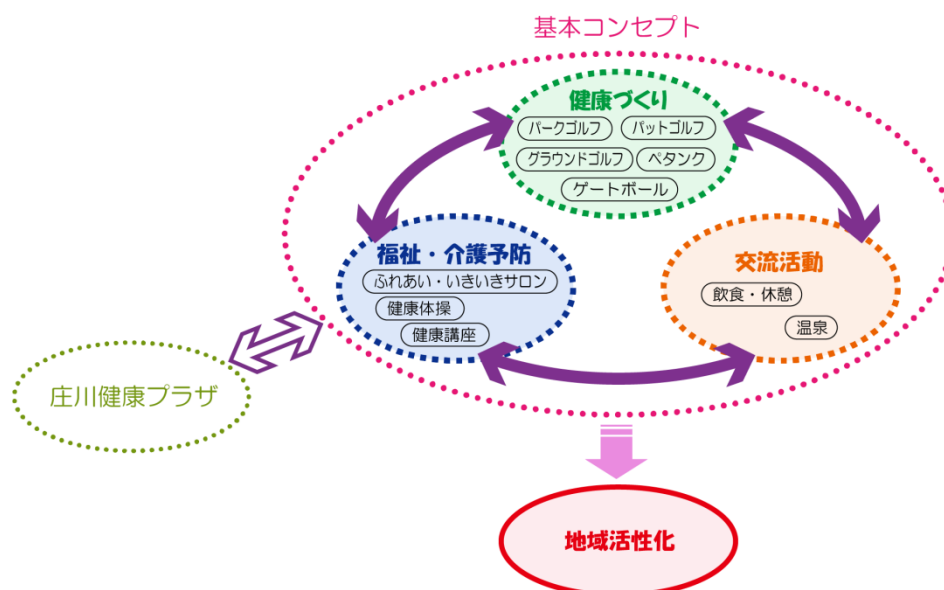
また、周辺では、庄川勤労者体育センター、パットゴルフ場、グラウンドゴルフ場が立地し、平成27年度には、人気の高いパークゴルフ場が本格的な36ホールとして開設予定であり、健康づくりの拠点化が期待されています。さらに、加速する高齢化に対する視点は不可欠と思われ、周辺の庄川健康プラザとの連携が求められます。

このような観点を踏まえ、新たなやまぶき荘及び周辺一帯（以下、新たなやまぶき荘を「新たな健康・福祉・交流施設」、新たなやまぶき荘を含めた周辺一帯を「新たな健康・福祉・交流ゾーン」という。）については、「庄川清流温泉」を大きな魅力のひとつとした、軽スポーツ活動を促す健康拠点、外出支援・介護予防を促す福祉拠点、地域情報の発信と地域人材の発掘を促す交流拠点となる一体的なゾーンを目指して、次の基本コンセプトによる新たな施設整備及びゾーンの一元的管理を推進します。

＜基本コンセプト＞ 「庄川清流温泉」を楽しめる 健康・福祉・交流拠点

3-2 基本概念と導入機能（全体）

「基本コンセプト」に基づき、新たな健康・福祉・交流ゾーンには、屋内外施設を利用した「健康づくり」機能、利用の底堅いサロン活動や要介護者とならないよう介護予防活動を受け入れる「福祉・介護予防」機能、温泉の魅力による交流拡大や地域人材を活用する「交流」機能を有機的に展開し、庄川地域の「地域活性化」を図ります。



3-3 導入機能（個別）

（1）健康づくり機能

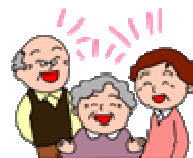
市内で初めて整備されるパークゴルフ場をはじめ、パットゴルフ場などの屋外施設と連携する屋内施設を整備するとともに、高齢者にも対応した動線の確保を図ります。

さらに、冬期間や雨天時などに対する通年利用を図るため、パークゴルフの屋内練習、屋内でも可能なペタンク、ゲートボールが楽しめる施設とします。



（2）福祉（生きがい活動）・介護予防機能

地域住民の生きがいづくり、仲間づくりを進める「ふれあい・いきいきサロン」事業などを積極的に受け入れるとともに、庄川健康プラザのウォーキングプールやリハビリ器具を活用した本格的な事業と連携し、身体機能を改善する軽運動、栄養改善など、初期的な介護予防機能を受け入れる施設とします。



（3）交流機能

＜飲食・休憩＞

飲食を楽しめる軽食ブースやスポーツ前後の小休憩の場を確保するとともに、各種団体による飲食を伴う会議・交流会等にも利用できる場を設け、施設の利便性を高めます。



＜温泉＞

庄川の清流や景観が堪能できる温泉機能の充実を図るとともに、気軽に温泉を体感できる足湯スペースを設けるなど、地域住民の憩いと観光客に対する魅力を付加した施設とします。



（4）地域活性化

施設管理・運営に際しては、一元管理の効率化を図るとともに、地元の事業者を視野に入れた指定管理者制度の導入や人材雇用を積極的に行います。

また、お土産・特産品など販売スペースや庄川地域・砺波市内の観光案内スペースを設け、地域情報の発信を図ります。



3-4 施設整備の方向性

(1) 施設整備の方向性

施設の現状や利用需要などを踏まえつつ、新たな健康・福祉・交流ゾーンの各施設の整備の方向性は、「基本コンセプト」及び「導入機能」に基づき、以下のように設定します。

① 新たな健康・福祉・交流施設

- ・既存施設は、老朽化や耐震性能、バリアフリーに対する問題があり、大規模改修事業による限定的な施設機能の向上を図るよりも、新たな機能に相応しい施設とするため、全面改築とします。
- ・新たな施設は、高齢者等の利用に配慮して平屋建で計画するとともに、木の温もりが感じられるような施設とします。
- ・顧客ニーズの変化などを踏まえ、行政が運営する施設として宿泊機能は廃止し、日帰りの施設とします。
- ・パークゴルフ場等の屋外施設の利用者の利便性を確保するため、各施設の窓口機能を集約する総合的な受付機能を設けるとともに、庄川勤労者体育センターとの連絡機能設けます。

② 庄川パークゴルフ場（仮称）

- ・平成27年度の開設に向けて、計画通り36ホールのコース整備を推進します。
- ・芝生養生を図る予備コースの増設について検討します。

③ 庄川河川敷公園 芝生広場（庄川パットゴルフ場）

- ・庄川パットゴルフ場は、利用需要を踏まえて現状維持とし、更なる需要の掘り起こしに努めます。

④ 庄川河川敷公園 芝生広場（グラウンドゴルフ場）

- ・グラウンドゴルフ場は、今後の河川敷一帯の利用状況を見据え、利用のあり方を検討します。

⑤ 庄川勤労者体育センター

- ・パークゴルフなどの冬期間や雨天時、夜間における室内練習の場、室内ペタンク、ゲートボールなどの利用に対応し、床の土間化（砂入り人工芝）を進めます。
- ・施設の安全性確保を図るため、耐震工事等を行います。

⑥ 関連整備

- ・市道舟戸橋雄神橋線について、交通安全対策の向上を図るため、道路線形の改良を検討します。あわせて、駐車場からの歩行者の安全な動線の確保や駐車場の一体確保を図るため、既存道路に隣接する用水路への一部蓋掛け等の整備を検討します。
- ・山側の法面の安全性向上を図るため、法面へのネット張りなど急傾斜地対策の必要性について検討します。

(2) 整備における配慮事項

① ユニバーサルデザインへの配慮

子どもから高齢者まで誰もが快適に利用できる施設とするため、バリアフリー化された動線の確保、多目的トイレの設置、分かりやすい案内表示の設置など、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行います。

② 周辺景観への配慮

計画地は、一級河川「庄川」や三条山といった自然に囲まれた環境となっているため、施設整備に際しては、周辺景観に配慮した外観デザインとするとともに、緑豊かな外構づくりを行います。

また、建物内は、庄川・河川敷の眺望を活かした諸室の配置を検討します。

③ 環境への配慮

全国的に環境負荷の低減に向けた取り組みが進められている中で、本施設においても、断熱性・省エネルギー性の高い資材やリサイクル資材の活用、緑化対策など環境に配慮した整備を行います。

④ 防災対策への配慮

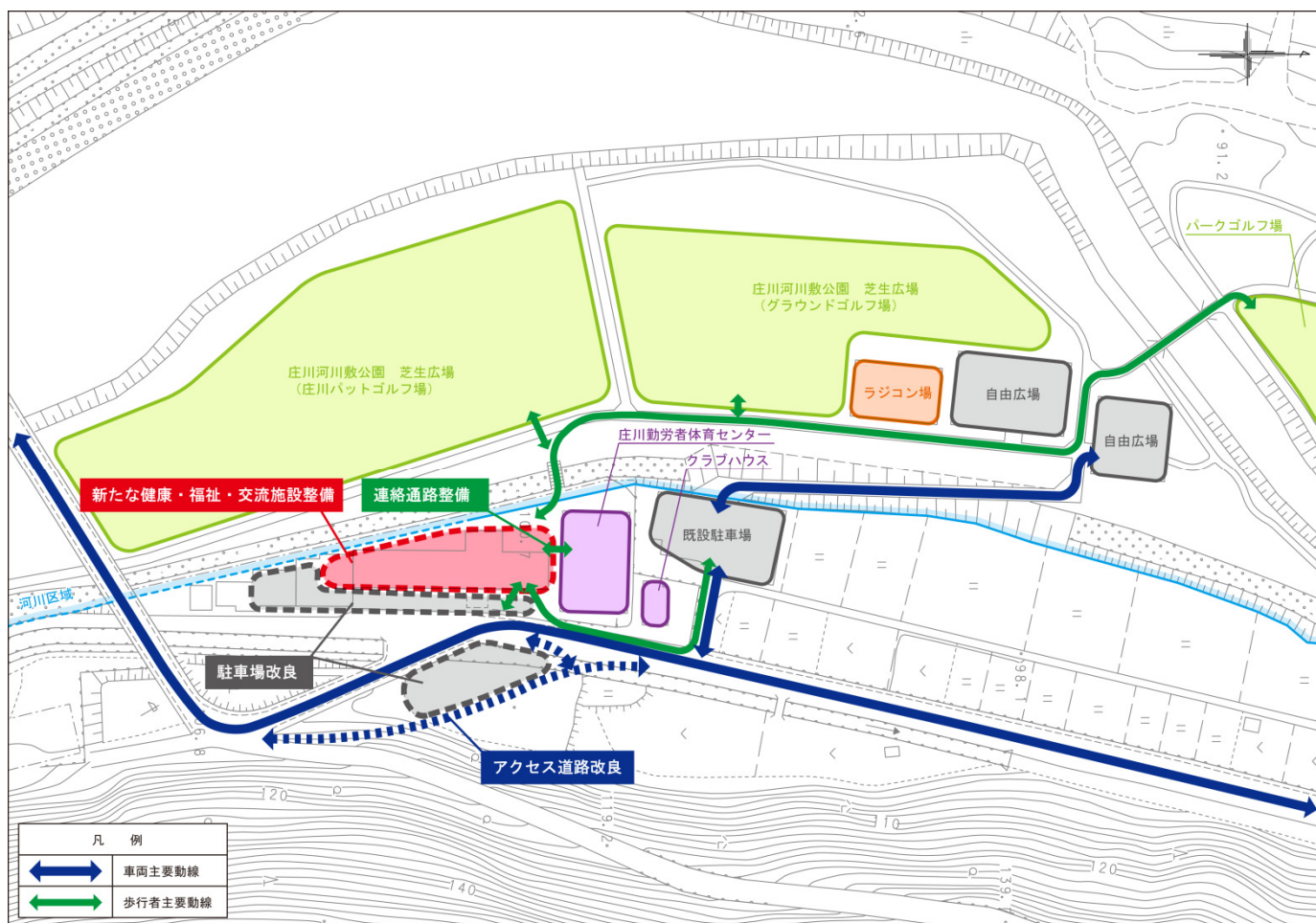
地震等の災害から安全な施設とするため、造成工事における地盤改良、耐震性の確保など、防災に配慮した整備を行います。

第4章 新たな健康・福祉・交流施設整備計画

4-1 建設地の設定

新たな健康・福祉・交流施設の建設地は、連絡道路の改良計画を考慮しつつ、「土砂災害警戒区域」及び「河川区域」を避けた位置とするとともに、施設管理一体化の観点から庄川勤労者体育センターと直接連絡できる（隣接する）位置に計画します。

具体的な建設地としては、地質の学識経験者により、周辺一帯地域については土砂災害からの安全性に大きな問題がないと提言を受けていることを踏まえつつ、河川敷エリア・庄川勤労者体育センターとの連絡や事業の円滑性、経済性、入浴施設等からの眺望に優れるとともに、新たに整備した北側駐車場の有効活用などの観点から現有施設の立地場所とします。



▲ 新たな健康・福祉・交流施設の建設地

4-2 建築計画

(1) 必要諸室と規模

施設への導入機能を踏まえ、必要となる諸室及びその規模は、以下のように想定します。

① 新たな健康・福祉・交流施設

新たな健康・福祉・交流施設の諸室規模は、既存施設や市内類似施設の規模を踏まえ、以下のとおり想定します。

＜新たな健康・福祉・交流施設の諸室規模＞

施設各スペース	施設内容	想定床面積 (㎡)	備考
I エントランス	玄関ホール、総合受付、事務室	90	
II ロビー	観光案内・特産品販売コーナー、 スポーツ・入浴前後の休憩スペース、 図書コーナー等	120	
III 交流スペース	軽飲食ブース、足湯施設、多目的 広間、小部屋	220	足湯施設は建物外部に設置する ため、床面積には未計上
IV やすらぎスペース	浴場、脱衣室、サウナ、露天風呂	200	露天風呂は建物外部に設置する ため、床面積には未計上
V その他スペース	厨房、食品庫、職員休憩室、共用 トイレ、廊下、機械室、倉庫等	570	
計		1,200	

② 屋外駐車場

屋外駐車場は、既存施設や市内類似施設の利用状況等を踏まえ、一般駐車台数 100 台程度を確保できるように計画し、スポーツの大会などのイベント時は、河川敷の自由広場を開放します。

③ 付帯施設

新たな健康・福祉・交流施設の整備に関連して、利用者の送迎用車両の格納庫が必要であり、面積は 100 ㎡程度を想定します。

(2) 施設配置条件

建物諸室及び駐車スペース等の配置は、以下の条件を満たすように計画します。

① 駐車スペース等は建物に近接させて配置する

施設利用者は、高齢者が多いと想定されることから、歩行動線が短くなるように配慮し、主要な駐車スペースは建物に近接させて配置します。

また、玄関前は送迎スペースとします。

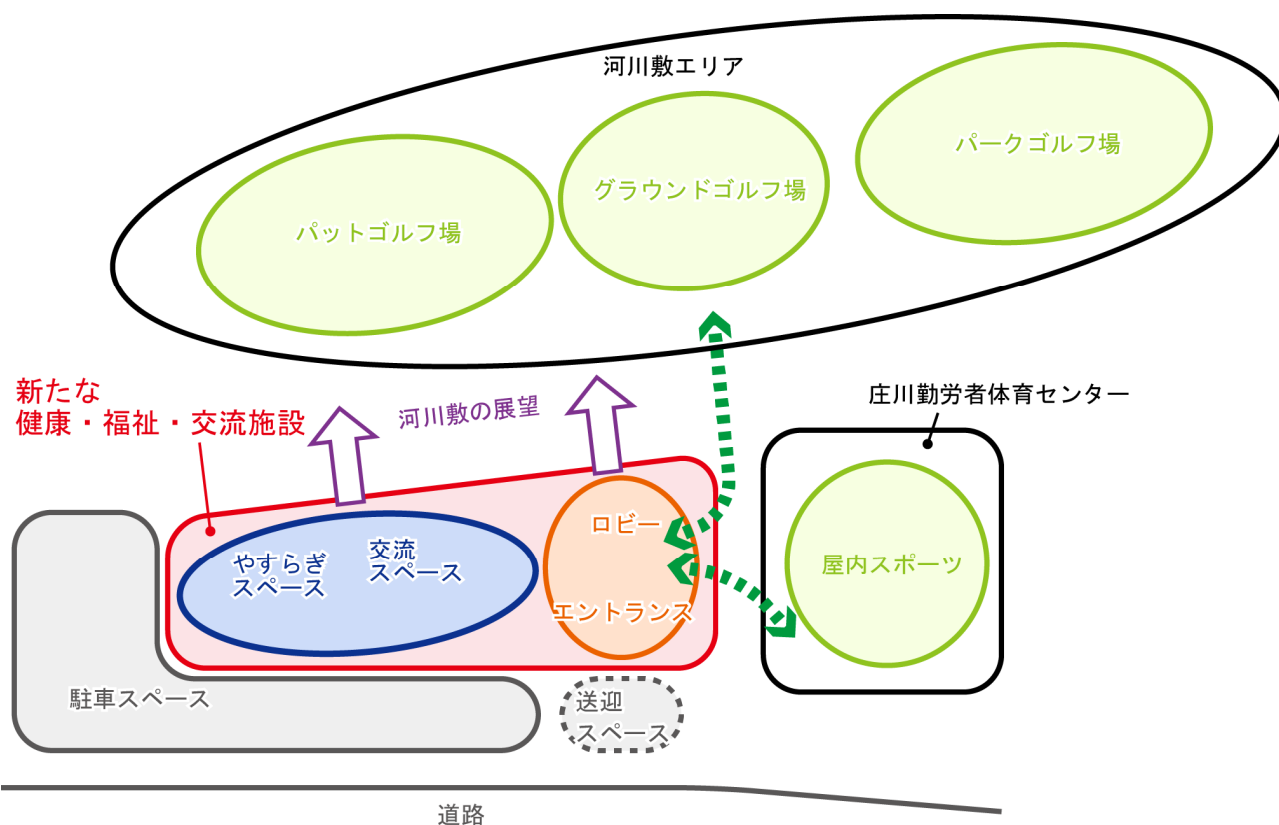
② 玄関は体育センター側に配置する

北側に隣接する体育センターや西側の各河川敷ゴルフ場を一体的に管理するため、玄関は一箇所として体育センター側（北側）に配置し、各スポーツ施設まで下足のまま連絡できるようにします。

③ 主要な空間は河川敷を展望できる位置に配置する

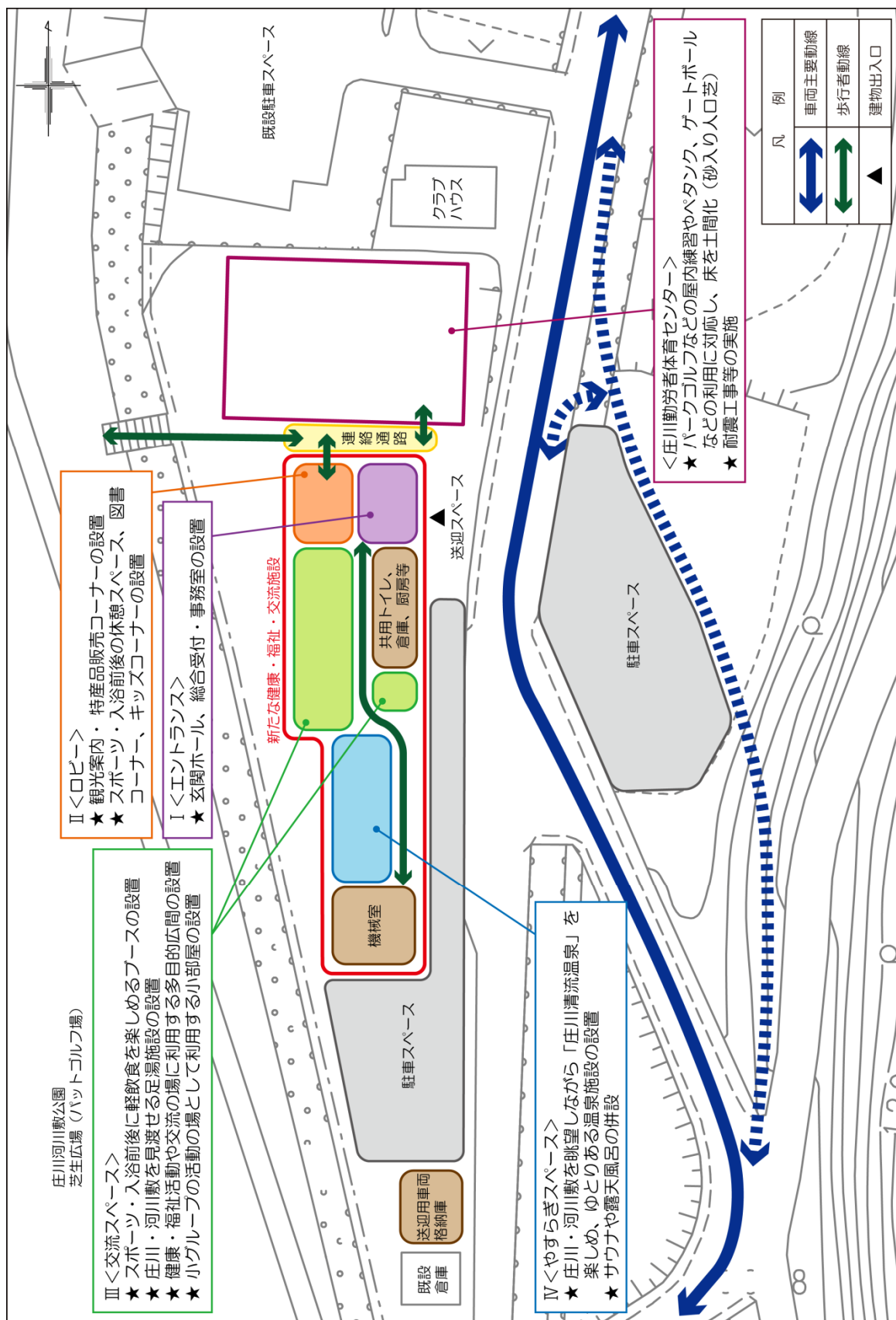
玄関に入ると、ロビーが正面にあり、庄川・河川敷を展望できるように配置し、建物内が明るい空間となるようにします。

同様に、入浴や福祉・交流活動、飲食等を行う主要な空間についても、庄川・河川敷を展望できる位置に配置します。



▲ 施設配置条件

(3) 平面イメージ

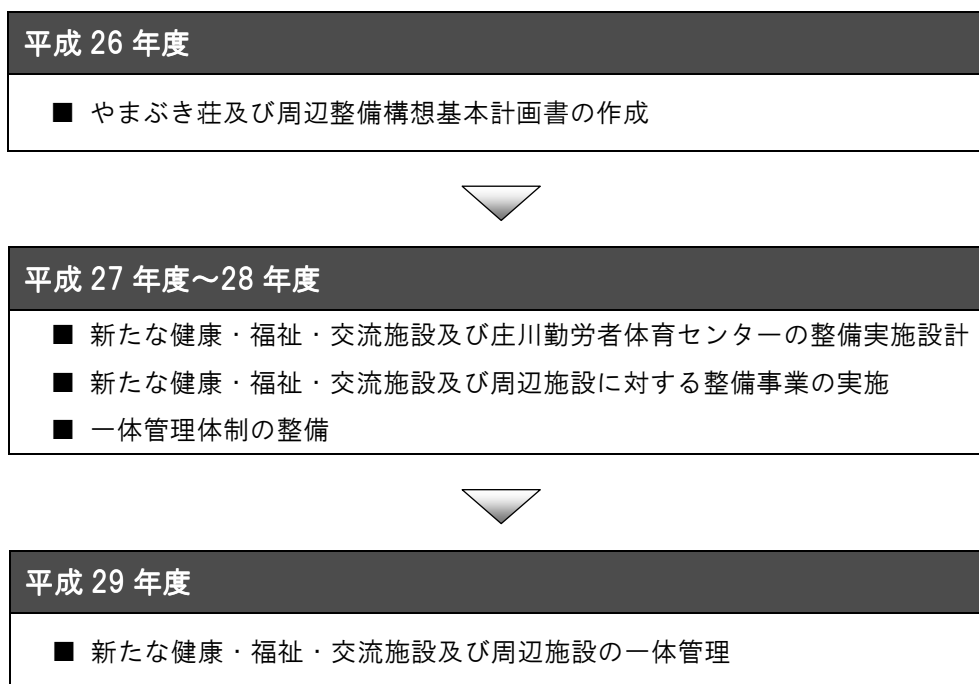


▲ 平面イメージ

第5章 事業計画

5-1 事業スケジュール

事業のスケジュールは、以下のとおり計画します。



5-2 概算事業費

概算事業費は、以下のとおり想定します。

施設	事業内容	概算費用(百万円)
新たな 健康・福祉・交流施設	・ 整備実施設計 ・ 解体工事 ・ 造成工事 ・ 建築工事（設備、外構含む）	395
庄川勤労者 体育センター	・ 整備実施設計 ・ 耐震工事等 ・ 床土間化工事	75
付帯施設 （送迎用車両格納庫）等	・ 建築工事 他	20
合計		490

5－3 管理・運営計画

施設の管理・運営については、行政が主体となり直接行う「公営」、指定管理者やNPO法人等へ委託する「民営」など多様な手法が考えられます。

新たな健康・福祉・交流ゾーンの管理・運営に際しては、これまでのような多岐に渡る所管体系から、一体的な管理・運営を行うものとし、公の施設が多様化する住民ニーズにより効果的・効率的に対応し、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることができる指定管理者制度を活用します。

指定管理者は、創意工夫のある提案（プロポーザル）により選定するものとし、以下のような観点より評価を行います。

＜指定管理者評価の観点＞

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 一体的な管理による管理費用の縮減及び効率化を期待できること。・ 施設管理などへの高齢者等の積極的な雇用を期待できること。・ 受託者に施設管理のノウハウがあること。・ 地元事業者の活用や地場食材の積極的な使用を期待できること。 |
|---|

第6章 参考資料

6-1 計画策定の経緯

(1) やまぶき荘及び周辺整備構想検討委員会

年月	委員会等	概要
平成 26 年 6 月	第 1 回検討委員会開催	・ 新たな施設の基本コンセプト並びにゾーニングについて
平成 26 年 8 月	第 2 回検討委員会開催	・ 第 1 回委員会での意見（新たな健康・福祉施設の建設場所、庄川勤労者体育センターの利用状況及び改修）について ・ 新たな健康・福祉ゾーンの機能コンセプト概要等について
平成 26 年 10 月	第 3 回検討委員会開催	・ 新たな健康・福祉施設の概要について ・ 意見書（骨子）について
平成 26 年 11 月	第 4 回検討委員会開催	・ やまぶき荘及び周辺整備に関する意見書（案）について
平成 26 年 11 月	意見書提出	・ 検討委員会より砺波市長に「やまぶき荘及び周辺整備に関する意見書」を提出

(2) やまぶき荘周辺一体管理検討委員会

年月	委員会等	概要
平成 25 年 6 月	第 1 回検討委員会開催	・ やまぶき荘及び周辺施設の概要と現況等について ・ やまぶき荘周辺一体管理のあり方の議論の方向性について
平成 25 年 8 月	第 2 回検討委員会開催	・ やまぶき荘周辺一体管理のあり方及び方向性について
平成 26 年 1 月	第 3 回検討委員会開催	・ やまぶき荘周辺一体管理に関する提言書（案）について ・ 今後の行程について
平成 26 年 7 月	第 4 回検討委員会開催	・ 整備構想検討委員会意見に対する検討内容等について ・ 新たな健康・福祉施設の建設費等について ・ 施設レイアウトの検討について
平成 26 年 11 月	第 5 回検討委員会開催	・ 新たな施設及び周辺施設の基本計画書の概要について ・ 新たな施設及び周辺施設の管理運営主体について

6-2 計画策定組織

(1) やまぶき荘及び周辺整備構想検討委員会委員名簿

	氏名	機関・団体名・役職	
会長	坂井 彦就	庄川峡観光協同組合	理事長
副会長	野村 泰則	砺波市社会福祉協議会	会長
委員	飯田 良榮	庄川町商工会	会長
	河合 康守	砺波市老人クラブ連合会	会長
	竹林 順子	砺波市ボランティア連絡協議会	会長
	中本 悦子	砺波市連合婦人会	副会長
	西森 昭治	砺波商工会議所 青年部	会長
	水上 昭次	雄神地区自治振興会	会長
	横山 直一	砺波市体育協会	専務理事
事務局	川原 国昭	砺波市福祉市民部	部長
	齋藤 幸二	砺波市福祉市民部社会福祉課	課長
	高畑 元昭	砺波市福祉市民部社会福祉課地域福祉係	係長
	田中 博晃	砺波市福祉市民部社会福祉課地域福祉係	主任
	齊藤 和芳	砺波市社会福祉協議会	事務局長
	庄下 中	砺波市社会福祉協議会 庄川支所	支所長
	島田 達男	砺波市社会福祉協議会 総務課	課長

(2) やまぶき荘周辺一体管理検討委員会委員名簿

区分	氏名	所属・職名
委員	齊藤 一夫	砺波市副市長
	水落 仁	砺波市企画総務部長
	川原 国昭	砺波市福祉市民部長
	八田 俊伸	砺波市商工農林部長
	大浦 正治	砺波市建設水道部長
	横山 忠司	砺波市教育委員会事務局長
	間馬 秀夫	砺波市庄川支所長
	齋藤 幸二	砺波市社会福祉課長
	喜田 真二	砺波市商工観光課長
	加藤 孝	砺波市土木課長
	今井 潔	砺波市都市整備課長
	構 富士雄	砺波市生涯学習・スポーツ課長
	齊藤 和芳	砺波市社会福祉協議会事務局長
	庄下 中	砺波市社会福祉協議会庄川支所長
	島田 達男	砺波市社会福祉協議会総務課長
事務担当	高畑 元昭	砺波市福祉市民部社会福祉課地域福祉係長
	田中 博晃	砺波市福祉市民部社会福祉課地域福祉係主任